

P 計画の基本事項			
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進		
施策	(5) 高齢者		
施策の方向性	高齢者が本に親しむため、利用しやすい環境づくりやサポートに取り組むとともに、読書を通じた学びやボランティア活動等への参加を促進する取組を行います。		
主な取組	①読書活動の促進		
	②生涯学習の促進		
成果指標	読書が好きな人の割合	策定時点	目標値(R9)
		80.6%	83.0%
D 令和6年度(具体的な事業実施状況調査より)			
評価指標	重点事業	指標	実績(R6) 目標値(R6)
評価指標	はつらつセカンドライフコーナーの資料充実	年間受入冊数	162冊 150冊
主な取組の実施状況及び今後の方針	①読書活動の促進		達成状況
	<p>◆まどかぴあ図書館において、はつらつセカンドライフコーナーの資料の充実を進め、年間目標の150冊を達成した。また、需要の多さから、はつらつセカンドライフコーナーの資料を移動図書館車の恒常的な積載資料に加えた。利用者の実態に合わせ、今後は対象を60代以上に見直し、需要を意識しつつポジティブかつ「セカンドライフ」を考えられる資料を収集していく。</p> <p>◆市において、地域カフェで「おとなのための1分音読」を紹介し、高齢者の脳活性化と口の体操に貢献して好評を得た。この取り組みを他区にも展開するほか、まどかぴあ図書館において、アルツハイマー月間に特集コーナーを設置する。また、「シニア広報大野城」への記事掲載を通じてシニア層への読書活動啓発を始め、今後も連合会と協議し継続していく。</p> <p>◆ふるさと館において、蔵書検索サービス(総閲覧数17,596回)と常駐スタッフで図書へのアクセスを支援し、読書のきっかけをつくることのできた。今後は情報検索システムの更新で蔵書検索の充実を図るとともに、特別展などテーマに応じた図書の周知を強化していく。</p> <p>◆電子図書館の利用方法に関する講座は、集客の難しさから単独での実施は見送っている。しかし、まどかぴあ図書館の通常業務のなかでカード登録時やお尋ね時に案内を実施しており、今後は引き続き利用者からの問合せに対応していく。</p>		<p>①効果が期待以上 ※目標冊数を超えるはつらつセカンドライフコーナーの資料の充実を実施できたことから、期待以上とした。</p>
	②生涯学習の促進		達成状況
◆まどかぴあ図書館において、パスファインダーの令和7年度春の発行を目指し、作成の方針とフォーマットを決定して作業を開始した。完成後はしらべものカウンター付近に設置する計画であり、準備を進めていく。		②期待どおり	

	<p>◆ふるさとラボにおいて、目加田文庫や郷土資料といった専門性の高い図書を配架し、常駐スタッフが市民の学習を支援した。貴重資料の特別利用による成果が論文として公表されるなど実績があり、今後も市民の歴史・文化学習への意欲向上に向けた取り組みを継続する。</p> <p>◆ここふるオレンジカフェにて読書ボランティアによる読み聞かせを実施し、読書を通じた学びの場を充実させた。また、アルツハイマー月間には図書館に認知症関連書籍の特集コーナーを設置し、高齢者の悩みを解消する取り組みを行った。今後は、ここふるオレンジカフェにて引き続き読み聞かせを行うとともに、幅広い世代の理解が進むよう図書館と連携した取り組みを進めていく。</p>	
C 評価		
推進委員会 評価	◆進捗状況は「達成状況」に記載のとおり。	
検討が 必要な事項	◆なし。	
A 改善		
改善結果		